

報道機関各社様

腸管出血性大腸菌 O157 による患者発生について

市内の高齢者施設において、腸管出血性大腸菌（O157）感染症の発生があり、市の調査及び当該施設による感染拡大防止策を進めておりますので、その状況についてお知らせします。

1 対象施設

高齢者施設

2 発症者の発生状況

8月3日（木）に、市内医療機関から、入院中の当該高齢者施設入所者のO157 患者の発生届が札幌市保健所に提出されました。保健所では、状況調査と衛生指導を行ってまいりました。

その後、有症者の回復等が確認されていたところですが、23日（水）に1名、24日（木）に1名の届出が提出されました（2名とも入院）。これ以降、新たな有症者は発生しておりません。

なお、入院された3名のうち、22日（火）に1名（80歳代女性）、28日（月）に1名（90歳代女性）が死亡しています。

(単位：人、数字は累計)

届出日	8/3(水)	8/9(水)	8/22(火)	8/23(水)	8/24(木)	8/28(月)
有症者（全）	1	2 ^{※1}	4	4	4	4
O157 届出数	1	2	2	3	4	4 ^{※2}
死亡者	—	—	1	1	1	2
O157 届出数（無症状）		1				3 ^{※3}

※1 7日（月）までにO157 症状から回復。陰性化確認は14日（月）及び21日（月）

※2 2名いずれも症状回復、うち1名は陰性化確認済

※3 施設全員の検便により、2名の無症状陽性者が判明

3 感染経路

調査中 ※食中毒については、O157 発症時期が集中していないこと等から、可能性は低いものと推察。（菌に汚染された料理を喫食することにより感染するほか、患者の便や菌の付いたものに触れた後、手洗いを十分に行わなかった場合、人から人に感染を起こす可能性があります。）

4 主な指導事項及び対応

8月4日（金）以降に立入調査を行い、感染拡大防止のために次の項目について継続指導しています。

- (1) 施設消毒の徹底
- (2) 有症者が使用するトイレの専用化
- (3) 非加熱食品提供の中止
- (4) 有症者を含む入居者、従業員の健康状態の確認の徹底（全員検便など）
- (5) 面会の中止

患者等の特定に係る情報の収集等につきましては、プライバシーの保護のため、提供資料の範囲内での報道をお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

札幌市保健所 感染症総合対策課 柴田、長尾
電話 622-5199